

津山市城西(岡山県)

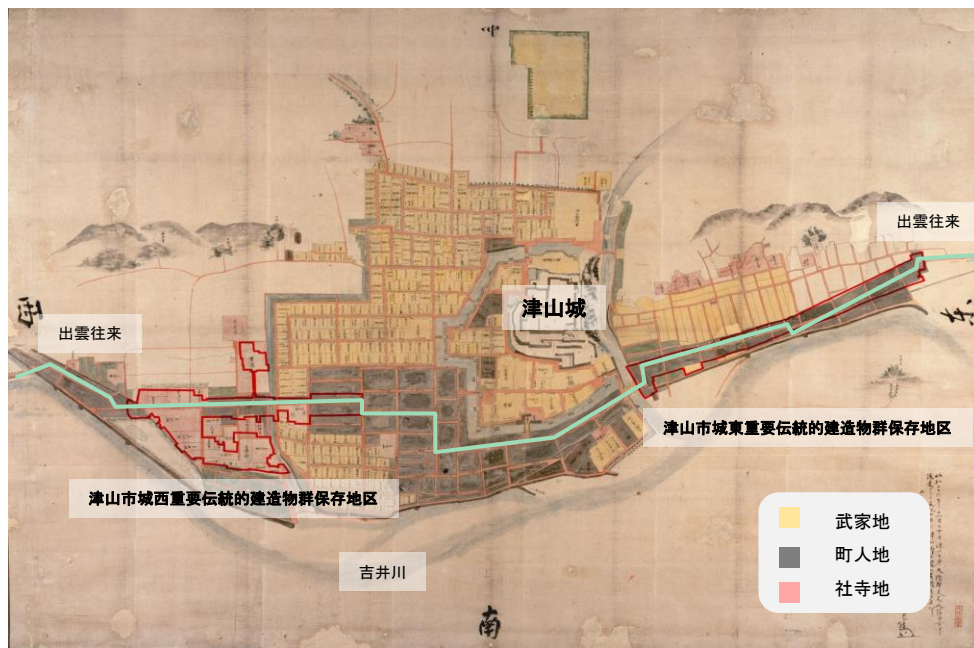
(1) 保存地区の概要

地区名 津山市城西
種別 寺町・商家町
面積 約12.0ヘクタール
選定年月日 令和2年12月23日

特徴

津山市城西伝統的建造物群保存地区は、津山城下町の西部に成立、発展した寺町及び商人町である。出雲往来を軸とした近世以来の地割りの姿を良く保持し、寺町は江戸時代の様相を伝える伽羅とともに、慶長期以降各時代、各宗派の寺院建築が良く残る。また、商家町は、往来沿いに近代の発展を示す伝統的な町屋が連続して残る。

津山城下町絵図(享保8年頃)



(2) 保存地区のあゆみ

平成21年度(2009) 「津山市歴史的風致維持向上計画」 認定
平成25年度(2013) 本源寺「重要文化財」の指定
平成30年度(2018) 「津山市歴史的風致維持向上計画(第2期)」認定
平成31年度(2019) 城西町並調査
令和 2年度(2020) 城西伝統的建造物群保存地区保存活用計画 策定
令和 2年度(2020) 『重要伝統的建造物群保存地区』選定(12月)
令和 3年度(2021) 修理・修景事業 開始



津山市城西(岡山県)

(3) 保存地区の保存と整備

・修理・修景件数

令和3年度 修理3件、修景1件
令和4年度 修理6件、修景1件
令和5年度 修理7件

・側溝整備事業

地区にふさわしい道路の景観及び歩行者の安全性の向上のため、側溝整備に取り組んでいる。

・まちなかサイン事業

デジタルサイネージの設置や案内表示の変更により、観光客の利便性と回遊性向上に取り組んでいる。また、案内板等のサインの統一化を進め、地区にふさわしい景観形成に努めている。

修理前



修理後



修理前



修理後



修景前



修景後



津山市城西(岡山県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

その1 伝統的建造物の活用とまちづくり

- ・町家を活用しての出店例がある。
- ・出店により地域の賑わいを創出している。
- ・観光モデルルートに紹介されている店舗がある。

その2 周辺への波及効果

市では景観法にもとづく津山市景観条例を定め、保存地区を含む周辺地区を「景観重点地区」に位置づけ、保存地区の周辺をふくめた景観整備を行っている。

文化財を活用した「まちの駅」



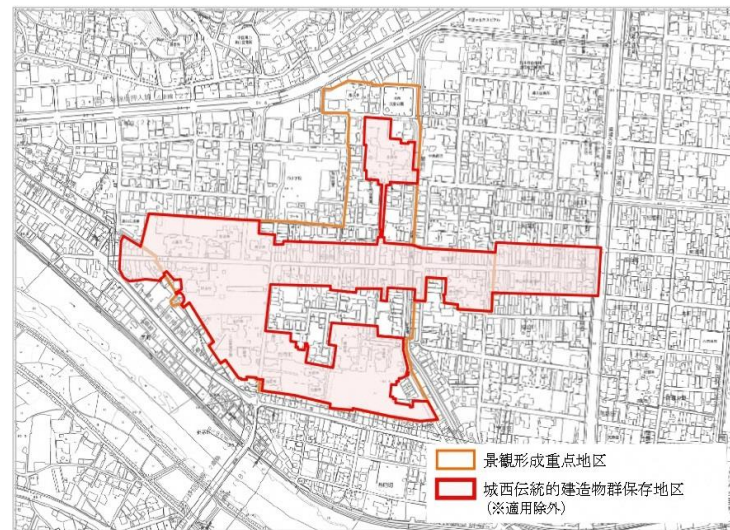
飲食店



伝統工芸品の展示・販売・体験



カフェギャラリー兼民泊施設



城西地区景観重点地区 (区域図)

津山市城西(岡山県)

(5) 住民等の取り組み

・「城西まるごと博物館フェア」の開催

毎年10月に保存地区一体を歩行者天国にして開催される「城西まるごと博物館フェア」は、保存地区全体を博物館と考え、伝統的工芸品の実演・職人によるガラス細工や陶芸等の販売で町人文化を演出し、市民や来場者を楽しませている。

平成7年から実施しており、各種団体や地域住民が一体となって、取り組む恒例行事となっている。

伝統的建造物群の町並みを散策するなど、保存地区の周辺住民も多数参加し、保存地区の良さを再認識することで、地区の継承が図られている。



「城西まるごと博物館フェア」の様子

・「城西若僧会」の結成と活動

城西地区の若手僧侶が、仏教に親しんでもらう活動を通じて地域の活性化を図るため「若僧会」を結成。城西地区には6つの宗派のお寺があり、宗派を超えて9つのお寺の住職、副住職が参加している。

様々な地域貢献活動をしており、代表的なものとして「先達といくおかげめぐり」や「花まつり」がある。「先達といくおかげめぐり」は各寺院の歴史や魅力を僧侶が案内し、案内している僧侶のお寺では、3つのコース(抹茶、写経、写仏、座禅、瞑想)のいずれかの体験ができる。また、町並みを人力車で巡ることもできる。



「先達といくおかげめぐり」のチラシ



「城東・城西まち歩き」のチラシ

・城東・城西重要伝統的建造物群保存地区のまち歩きガイド

津山観光ボランティアガイドの会では、津山市にある2つの重要伝統的建造物群保存地区をガイドと巡るまち歩きツアーを実施している。

・様々なイベントの開催

城西重要伝統的建造物群保存地区の町並みを活かした様々な取り組みやイベントを開催している。



クラウドファンディング集めた資金で購入した「人力車」

地元の青壮年有志で結成した「城西人力車隊」により、「城西まるごと博物館フェア」や「先達といくおかげめぐり」などで活躍する。



「城西ひなまつり」の様子



「野菜と魚の市」の様子